

別紙様式3

平成29年度 第1回 地域連携による活力ある高校づくり推進事業協議会 議事要旨

日 時	平成29年 6月2日 (金) 10:00~11:30
場 所	八百津高校 会議室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>浅野 知子 八百津高校を育てる会 (八百津東部中学校校長)</p> <p>安藤 充優 八百津高校を育てる会 (八百津中学校校長)</p> <p>臼田 篤 八百津町商工会</p> <p>愛知 美吉 八百津高校学校評議員 (きらり館長)</p> <p>荻野 未央子 八百津高校PTA幹事</p> <p>加藤 大博 岐阜県議会議員</p> <p>金子 政則 八百津高校を育てる会 (八百津町町長)</p> <p>神谷 一久 八百津高校学校評議員 (神谷技研社長)</p> <p>榎間 誠 錦津小学校長</p> <p>佐合 重光 八百津町商工会長</p> <p>林 善次 八百津高校を育てる会 (八百津高校同窓会長)</p> <p>堀部 義郎 八百津高校を育てる会 (八百津町教育長)</p> <p>水野 信治 八百津高校PTA会長</p> <p>(高校)</p> <p>居波 裕 校長</p> <p>亀谷 信幸 教頭</p> <p>三宅 克典 事務長</p> <p>兼松 義治 教務主任</p> <p>志比 顕秀 進路指導主事</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>日比 学 教育総務課 管理主事</p>
議事概要	<p>1 事業についての学校からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的の説明、実施計画、推進事業内容等について <p>2 デュアルシステムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高連携とデュアルシステムに力を入れているとのことだが、デュアルシステムが、昨年度15名から10名に減少してしまった理由は何なのか。分析をして魅力あるものにしてほしい。 ・ デュアルシステムは素晴らしい取組であるが、生徒が取り組む時間が正社員と同じ勤務時間であることは、メンタル面など大変ではないか。また、1年間を通して29日間同じ企業ではハードではないか。生徒の意見を聞いてほしい。 ・ 八百津町内にこだわらず、町外にも広げて多くの生徒を受け入れてもらってはどうか。生徒にとって大切な方法を考えてほしい。1年間、企業が替われないことは本人の適正に合わなかったときに苦勞するので、事業主と相談してほしい。お互いに魅力的なものになるよう考えてほしい。部活動との兼ね合いについても、今後の課題であると思う。 ・ 昨年2月に実施されたデュアルシステムの成果発表会を聞いて、この取組の良さがよく伝わってきた。生徒のデュアルへの取組のプラス意見はよくわかった。しかし、マイナス面の生徒の意見調査はあったのか。マイナス面についても知りたい。 ・ デュアルシステムへの参加は生徒の希望で決定するとのことであるが、運動系で頑張っている生徒は自分をプロデュースする能力があり心配ない。デュアル実習生のターゲットを考える必要がある。

- ・ 多種多様な職場があるが、生徒はどんな職種を希望しているのか。保護者は、1つではなく多くの企業を体験させたいと思っているのではないのか。
- ・ このシステムを将来に繋がるしっかりしたものにするために、製造業に絞るという選択肢はないのか。
- ・ 実習先として接客の仕事が埋まりやすいとのことであるが、生徒の希望だけでなく、学校からの指示がないと本物にならない。
- ・ 昨年度の成果発表会で、中学校に妹のいる生徒が「中学校の校長先生ですね、妹をよろしくお願いします。」と挨拶をしてくれた。企業を体験することは、人との関わり方もひとつの成果だと感じた。ひとりでも多くの生徒に体験させることが大切なのではないかと思った。
- ・ 成果発表会でのパネラーの皆さんの話が腹にすんと落ちる話だった。働く理念を語っていたことが印象的であった。現在は小高連携を私も協力して進めている。
- ・ 資格を取りたい生徒のことを考えると簿記とデュアルとの選択でよいのか。他県では対価を出している県もあると聞く。
- ・ デュアルシステムには、やはり対価を与えても良いと思う。企業によっては、バイトのような立場で対価を支払ってもよいと考えている事業所もある。受け入れ企業と相談をしながら希望者を増やしてほしい。お金をもらおうと責任を感じる。社会経験の一環である。
- ・ 今回の協議会でデュアルシステムの反省材料が出てきたことは、とてもよかったのではないのか。何が目的で生徒をどうしようとしているのか、ぼけてしまったのではないのか。部活動体験のように自分に何が適しているかは実際にやってみないとわからない。企業先が変わることは賛成である。

3 その他

- ・ デュアルシステムだけでなく、進学希望者へのアピールがあってもよいのではないのか。八百津高校の位置づけは、幅広い選択肢のある学校。国公立を目指している生徒もいるはずなので進学指導をしっかりして欲しい。
- ・ 一番の魅力は、やはり少人数指導だと思う。本来は八百津高校を希望していなかったけれど、来てよかったという感想が多い。八百津高校は手厚い指導と自分を変えてくれるきっかけを作ってくれる学校であることが魅力である。高いレベルの学校を目指して頑張れる学校であることもアピールしてもらいたい。かつての八百津高校とは違うということをいろいろところでアピールしてほしい。
- ・ 八百津高校ではボート部とカヌー部が全国トップクラスになり、活躍するということを経験して、その先の人生に進むことができる。とても魅力のある部活動をもっている。近隣の高校をみると、ボート部の人数が減少しているのに八百津高校は増加している。優秀な指導者に教えてもらい全国を体験できることを前面に出して広めてほしい。
- ・ 八百津高校の生徒には、サマー学習や長期休暇に学習サポートをしてもらっている。高校生は、初めて小学生を教えて、教えることの難しさを知ることができたと語っていた。デュアルのように長期でなくとも短期間で浅くてもよいので、いろいろな体験をすることは大切だと思う。これからも、積極的に声をかけていきたい。
- ・ 八百津高校は昨年度入試で定員を確保でき、よいイメージが広がっている。今後も機会あるごとに町内外でアピール活動をすることがよい方向につながっていくと思う。